

成長。貢献。感謝。

羽地中学校
学校だより205号
R2. 3. 19

文武両道の学校生活を



4月8日(月)に始まった今年度は、授業日数が193日。新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校で卒業式も短縮して実施せざるを得ませんでした。

沖縄県内で感染した3名の方は全員が回復して、2月20日以降、県内ではコロナウィルスによる感染は確認されていません。しかし、全国ではまだ感染が広がっています。そして、世界ではヨーロッパやアメリカなどで感染が広がっています。イタリアでは、3万人以上の方が感染し、6千人以上の方が感染したフランスでは、政府が15日間の外出禁止令を出して、警察官が外をパトロールしています。中国の感染者は8万人以上です。お隣の韓国では、8千人を超える感染者が出ています。韓国の学校は2月終わりから春休みのように、新年度の始業日は、3月2日だったのですが、感染が広がり、4月6日に延期になったと伝えていきます。

日本でも卒業式の中止や縮小、スポーツやコンサート、イベント、展示会なども中止、延期、無観客試合だったりしています。春の選抜高校野球も中止となりました。このように世界中でコロナウィルスの影響を受けている状況です。

私たちができることは、複数のニュースで正確な情報を得て行動することです。

そして予防。手洗い・うがい、外出しなければならぬときはマスクの着用、密集した所で大勢で行かない、窓を開けて換気、などです。

学力では、羽地中は、まだまだ名護市内でも低い位置にいる状況でしたが、今年の沖縄県学力到達度調査で、2年生の数学が県の平均点を上まわりました。また、理科は地区や名護市の平均を上回る成績でした。他の教科も県の平均に近づいています。

そして、今年の卒業生は75名が受験し、1次合格者は74名、合格率98%の高い合格率をたたき出しました。



これも卒業生の努力と先生方の熱意あふれる進路指導、保護者の方の協力のお蔭だと考えます。1名の生徒が二次募集で再チャレンジします。全員合格を期待しています。

授業中によく発言する、提出物をいつも早く提出する。友達に教える、友達から学ぶ、など誰でも努力すればできることで成績や内申点は上がりません。

生徒会や専門委員会に立候補して一生懸命活動する。責任を果たす。さらに、学校行事で実行委員会に貢献する。

また、検定など資格取得にチャレンジする。頑張れる方法はいくらでもあります。

英語や社会・数学などの放課後の補習・自主勉強もできます。

部活動で優勝めざして頑張る、県大会に出場する。地区陸上や駅伝大会に向けて走り続ける。などスポーツをできる人は文武両道で頑張れます。

NO.9年度、令和元年度も今日で終了です。皆さんは、4月から2年生、3年生へと進級します。

卒業生が成し遂げてきた実績を更に積み上げて、スポーツと学習の文武両道を図り、楽しい学校生活を送れることを期待します。

一年間、ご苦労様でした。

学校だよりは第205号をもって終了します。今年度も生徒の学びの様子や表現活動、地域の行事等を掲載してきました。文章だけでなく、笑顔のある写真や真剣な表情も追ってきました。原稿の提供や寄稿をしてくれた先生、生徒の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

